

福祉、健康づくり

ボランティア活動を活発に 学童保育の充実を



「福祉、健康」の分科会には、30代から70代まで幅広い層の市民21人（男5人・女16人）が出席。市からは高辻助役が同席しました。「お年寄りの生きがいづくりを」、「学童保育を充実させて」、「ボランティア活動を活発にしよう」といった声が多く上がりました。また「総合福祉センターを造ってはどうか」というアイデアも出されました。

司会 皆さんはこれからの白根市にどのような福祉施策が求められると考えますか。

A 白根市の福祉施策は他の市町村と比べて遅れていると思います。老人センターや、衛生病院の医師増員など特に力を入れてもらいたいです。

B 今までの社会では、老人はどちらかと言えば受け身の立場。お年寄りが社会の役に立てて、生きがいを持てるような施策、白根市で生きて年を取って良かったなどと思えるような施策を願いたい。

C 白根市に住んでみると、他の市町村に比べ福祉にある種の歯がゆさを感じる場合があります。老人センターやこれからできる特養老人ホームでは、若者が入り込んで、お年寄りとの交流できるというのではないのでしょうか。

D 総合福祉センターを造って、お年寄りにも学童保育に協力してもらってはどうかという。学校から帰っても誰も家にいない子がそのセンターで遊び、ボランティアの老人が子供が家に帰るまで世話をする。老人の活動の場になりますし、子供の親も助かると思います。

E それは大通地区などで特に喜ばれる話ですね。市は地区によって優先する施策を変えるべきです。例えば老人の多い村部では老人福祉に、子供の多い地区では学童保育に力を入れる。地区ごとの施策に特色を出してほしい。生活センターで近所付き合いの無さを解消し交流を活発にしよう、地域を盛り上げるようにしてもらいたいです。

C 総合福祉センターというのは、青年教育センターと老人センターが合わさったものに障害者の作業所や体育館、研修施設があつて、一般の人も含め、いろいろな人が入れるのが理想だと思います。助役 確かにお年寄りの生きがい対策は、今後の市の取り組みの重要な柱です。力を入れていきたいと思つていますが、総合福祉センターは今のところはつきりしたことは言えません。内容はよく理解できます。

F 白根市には寝たきりとな

て、お年寄りにも学童保育に協力してもらってはどうかという。学校から帰っても誰も家にいない子がそのセンターで遊び、ボランティアの老人が子供が家に帰るまで世話をする。老人の活動の場になりますし、子供の親も助かると思います。

E それは大通地区などで特に喜ばれる話ですね。市は地区によって優先する施策を変えるべきです。例えば老人の多い村部では老人福祉に、子供の多い地区では学童保育に力を入れる。地区ごとの施策に特色を出してほしい。生活センターで近所付き合いの無さを解消し交流を活発にしよう、地域を盛り上げるようにしてもらいたいです。

C 総合福祉センターというのは、青年教育センターと老人センターが合わさったものに障害者の作業所や体育館、研修施設があつて、一般の人も含め、いろいろな人が入れるのが理想だと思います。助役 確かにお年寄りの生きがい対策は、今後の市の取り組みの重要な柱です。力を入れていきたいと思つていますが、総合福祉センターは今のところはつきりしたことは言えません。内容はよく理解できます。

F 白根市には寝たきりとな

でいなくても、その一歩手前の人も大勢います。寝たきりの予防、正しい健康の知識など、老人への保健教育をしつかり行つてほしい。また老人教室などがあれば楽しい場になるのではないのでしょうか。

A シルバー人材センターを充実化したいと思つています。そのためにも65歳くらいの若い老人にも、もっととつと入会のPRが必要だと思つています。

B 先ほど学童保育の意見がありました。賛成です。各生活センターで子供を預かるというの、健康で仕事のない老人がボランティア精神を発揮できますし、人の輪につながるでしょう。それが住みよい白根市に結びつくと思つています。

G 私も子供が小さいとき近所のお婆さんに見てもらつて大変助かったことがあります。こういったことはもっと広がる方がいいですね。

H 阪神大震災でボランティアの活動が全国的に注目されています。福祉だけでなく幼児や青少年の関係でも、各ボランティアが情報交換・協議ができるよう、横の連絡が取れる体制が大事だと思つています。

I ボランティアの活動の紹介など、情報交換ができる、媒介となる窓口を整備してもらいたい。そのためには広報紙などでボランティアについ

ての情報を充実させてほしい。

J 老人センターの中にボランティアセンターがあり、機能がスムーズに発揮されてほしい。ボランティア活動の連絡調整をするコーディネーターが必要だと思つています。

K 手取り早く手軽にできるボランティアは、運動会など地域の行事の手伝いです。まず家族、次に身の回りと、地域に根差したボランティア活動が大事だと思つています。またボランティア活動というものは行政に頼るばかりではないけません。活動の中で、どうしても個人でできないもの、例えば施設の整備、地域間の連携などを行政から支援してもらえばいいんです。

L ボランティアをやつてみたいとか興味のある人はかなりいると思うんです。でもなかなか声を出しづらい感じもする。気軽に声を出せることが必要です。市の施策としては、福祉活動の核があつて、それにボランティアパワーがプラスされるような体制を望みたいですね。

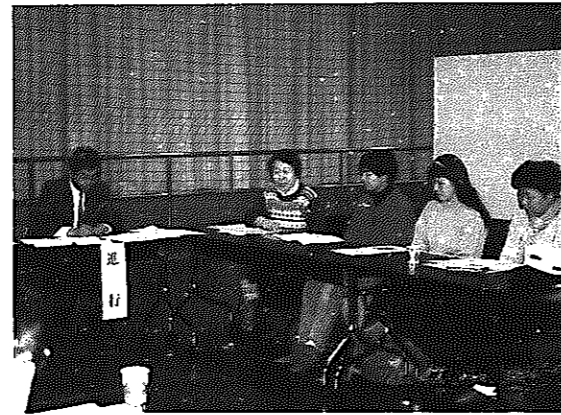
司会 市でも社会福祉計画の中で、マンパワーつまり人の力を生かしていくことを考えています。皆さんの意見は、これから作成する総合計画をはじめ、施策の中に積極的に反映していきたいと思つています。

4つに分かれて自由に意見を出し合いました。内容をご紹介します。  
※「産業（農・工・商）振興」「開発、生活環境づくり」については6月1日号でお知らせします。

市民フォーラムでは市民の皆さんの声を聞くための分科会、まちづくりトークが行われました。参加者は「福祉、健康づくり」「教育、文化、スポーツ振興」「産業（農・工・商）振興」「開発、生活環境づくり」の

教育、文化、スポーツ振興

子供のスポーツ教育に力を 図書館や市民プールも



「教育、文化、スポーツ振興」の分科会には、20代から60代までの市民12人（男8人・女4人）が出席。市からは岡田教育長が同席しました。子供の教育の充実や、図書館や市民プールなど施設の整備を求める声が多く上がりました。

司会 皆さんは白根市の「教育、文化、スポーツ振興」についてどう考えますか。

A 白根市の教育、文化、スポーツ振興は少し遅れている気がしますが、特に施設の面で。カルチャーセンターや大風呂と歴史の館で少しは良かった気はしますが。

B 子供にとって教育、文化はとて大切。施設や行事を充実させてほしいです。

C 私はスポーツが大好きで各地の大会に参加しています。そんなとき感じるのは白根市民はおとなしく行動力がないことです。行政も良い事を言うだけで協体制度が弱い。カルチャーセンター内にスポーツ団体の事務局を置いて、スポーツ発信基地にしたいらいいと思つています。

D 市民の積極性が欠けているのは地域根性が強いからかもしれません。旧町村単位に捕らわれず、白根市を横割り3区くらいに分ければ意見や

考えを出しやすくなるのではないのでしょうか。

E 大風呂と歴史の館ができて、市外から孫を連れて来たら大変喜んでいました。こうやって子供を連れて行ける施設があるといい。それが子供の学習につながると思つています。

F スポーツはいろんなことを学べます。子供へのスポーツ教育を充実してほしいものです。また私は青年会議所で活動していますが、わんぱく相撲などで学校を回つていくと、積極的に協力してくれる先生とそうでない先生がいます。けがが心配なのかもしれないですが、先生も支援の仕方を考えてほしいと思つています。

G 白根市はカルチャーセンターのような施設はできません。これからは行政の中心。子供たちのためにも新計画でスポーツ振興を図つてほしい。市内には大学、高校などの大会で優秀な成績を収めた人材が埋もれている。その人材に協力を呼び掛けたり、公民館活動でもスポーツを大いに取り入れてほしいものです。

司会 文化、教育、スポーツの振興には人づくりと施設の整備の2つの面があります。人づくりについては皆さんどう思つていますか。

C 日本ではボランティアの感覚が弱いんです。外国では

休暇の半分をボランティアなどの社会貢献に当てています。日本、特に白根市においてはスポーツ大会の主催者や団体がボランティア集めに苦勞しています。市の広報でボランティアのPRをすべきです。学校の先生も生徒にボランティアについて指導するよう協力してもらいたいと思つています。

G スポーツは地域づくりにもなります。各地域がスポーツを通じて生涯学習に取り組むべきです。そのとき「施設を整備した」、「人材を求めろ」とかいう情報の伝達が大切です。地域で声を掛け合うのも情報交換ですよ。

F 子供がスポーツを懸命にやると父親も母親も懸命になります。それがコミュニケーションになって親同士の輪が広がる。また先生への刺激にもなります。子供への教育はそんなところにも役立ちます。

H 小さい子供を持つ母親同士のネットワーキングも大切なことだと思つています。

A 私は昔先生をしていましたが、今の意見はまさにそのとおりです。子育ての情報交換は教育の第一歩です。

E 例えば総合公園のテニスコートは平日の利用者が少ないです。平日はスポーツ連盟が主催して催し物など開け

るはずなんです。そのための情報があつてうまく行き渡るよう、取りまめ機関があるといいですね。

C 体協だよりが年に2回発行されています。情報が横にうまくつながるよう、月に1回は出してほしいものです。

司会 施設の整備については皆さんどう思つていますか。

A やはり市民プールが欲しいです。そういう声が多いのは事実です。よく聞きます。

C 施設は造るにしても順番が問題です。まずは市民全員が集まってイベントを開けるグラウンドが欲しい。市民プールもあるといいですね。

I 図書館がぜひ欲しいです。図書館があれば、例えばバスの待ち時間を利用して1時間でも本が読めます。小さいころから本をはじめいろいろな物に触れ体験して豊かな人間が育つのではないのでしょうか。

B 加茂市では図書館を新しくしたら利用者が増大したそうです。図書館は必要でしようです。図書館は必要でしよう。交流の場として輪を広げるとい意味もあるはずなんです。

J 私は中央公民館の建設も早めてほしいと思つています。

司会 分かりました。市では今後、市民委員会をつくるなどして、今日の皆さんの意見をはじめ、いろんな意見を聞いて総合計画を作つていきます。よろしくお願ひします。